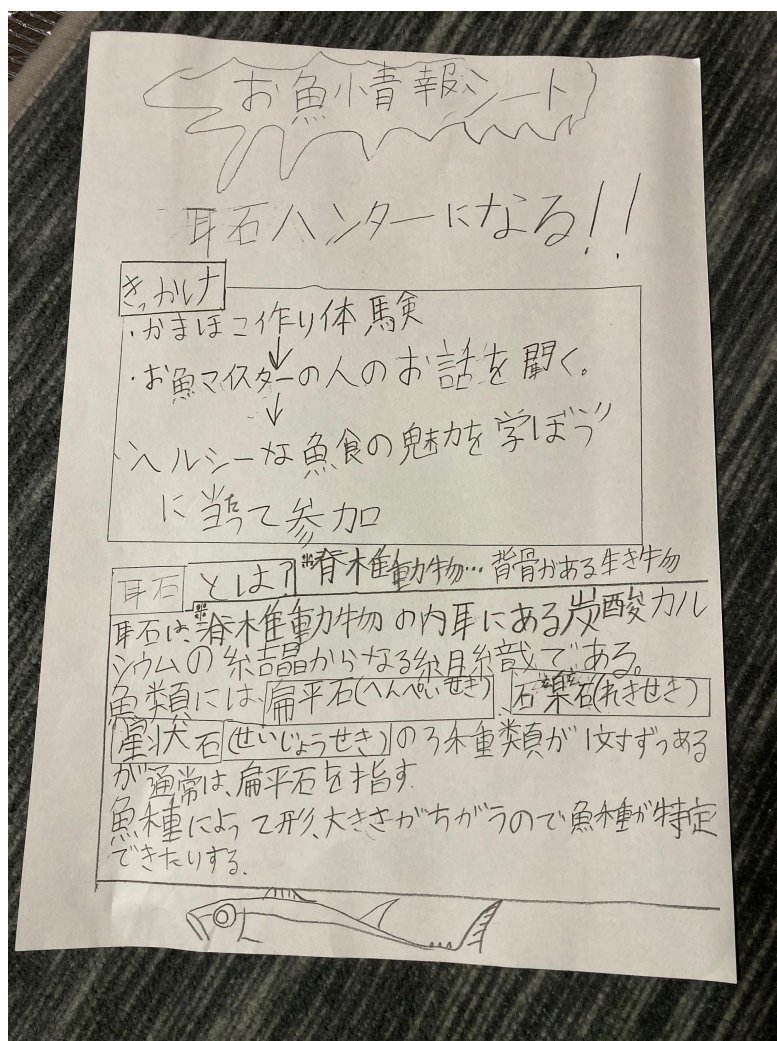


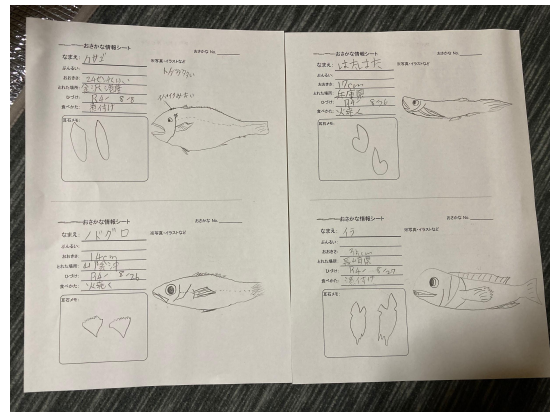
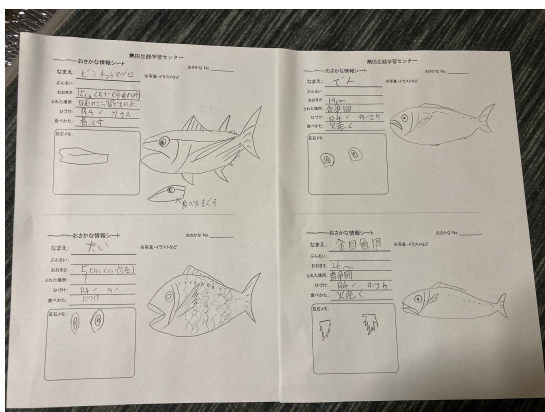
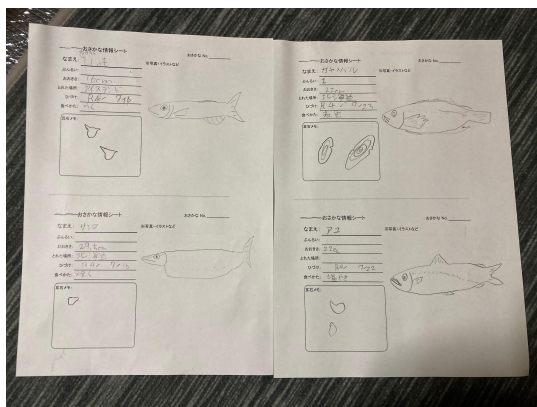
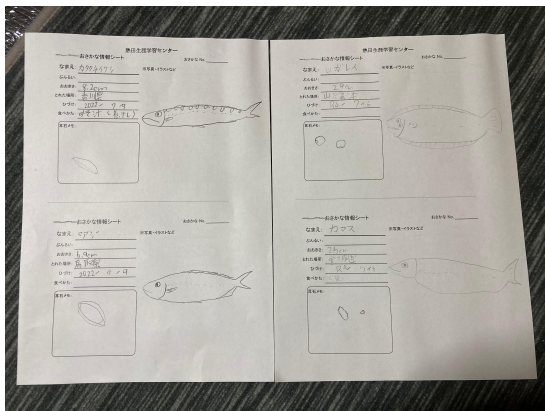
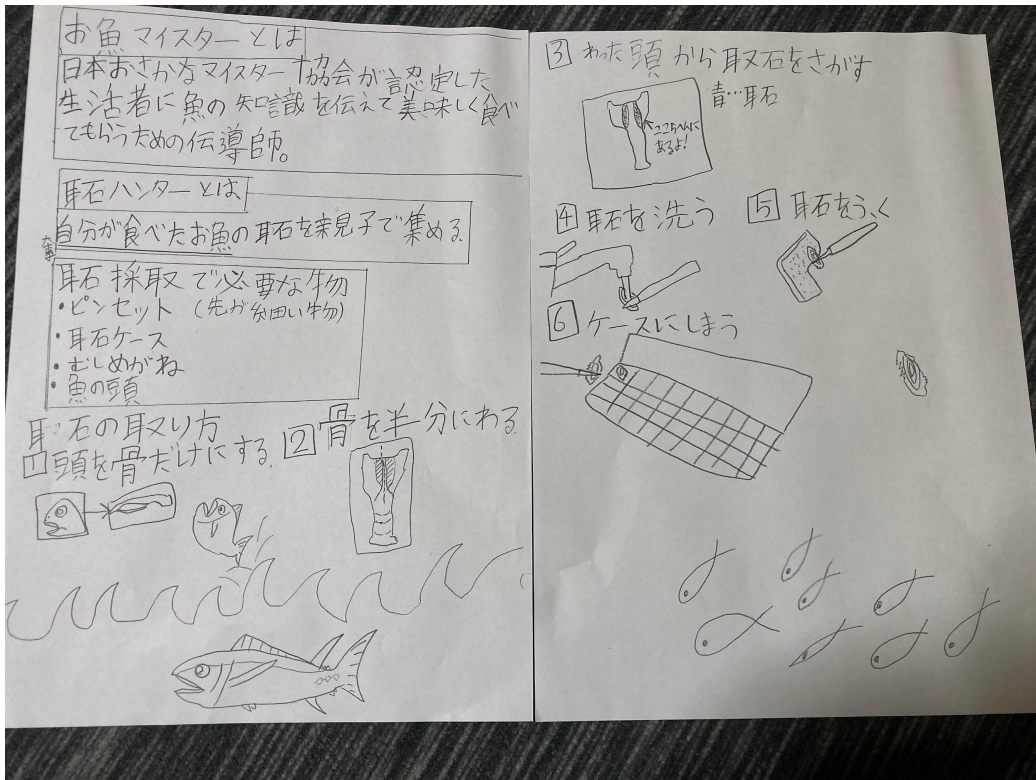
第30回 耳石ハンター 耳石ハンター増殖中！

美味しく食べて、楽しく集める「耳石ハンター」
いつでも、気軽に、道具が無くても始められる

親子で始めれば、「食」について話し合う時間が増えて
調理法やマナーなども一緒に、楽しく学べる。
さらに、「我が家流」の伝承や、
他の地域や、人との「違い」についても学べる「副産物」が
もれなくついてくる。

今からでも遅くない。始めてみよう、最初の一步。
例えば こんな感じ





悠翔君(小学生)が作成した資料ノートの一部



彼は、かまぼこ作り体験に参加

伝統的な「名古屋かまぼこ」を作る教室

かまぼこ用の「すり身」を「付け包丁」を使って、板付けし、

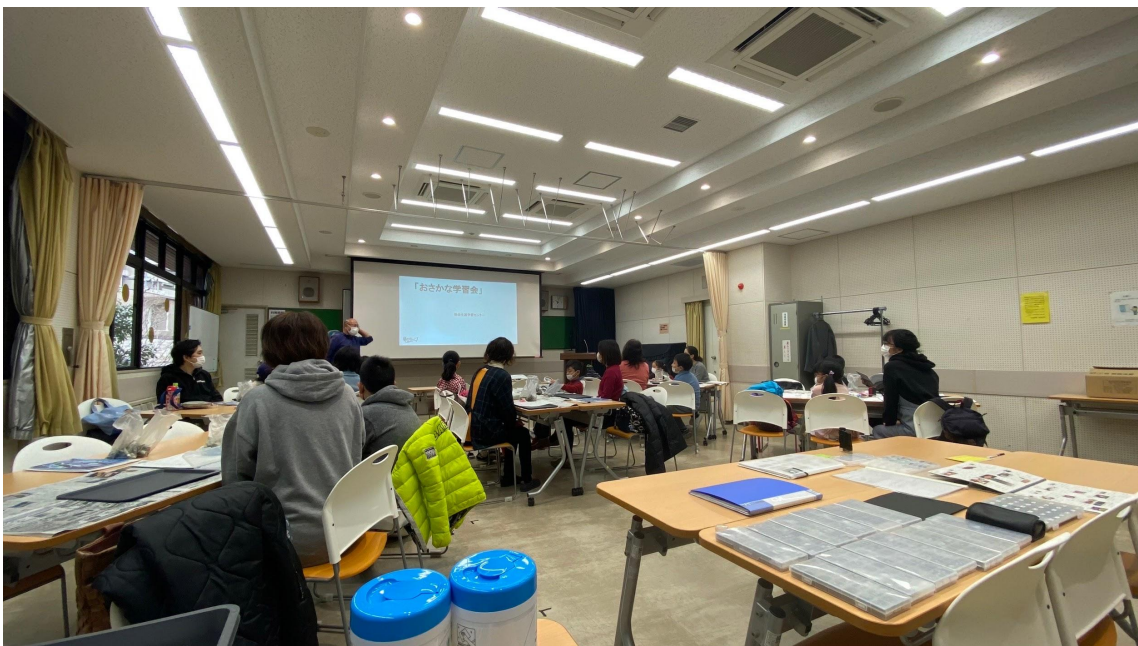
3色の「上掛け」でデコレーション

オンリーワンの手作りかまぼこを作る、体験型の教室

親子で、友人同士で、1人でも。年齢性別問わず、気軽に参加できるのが特徴。



かまぼこが蒸し上がるまでの時間を利用した
おさかなマイスターによる「おさかな勉強会」で、耳石の存在を知る。



採取した耳石や作成した資料ノートの「見せっこ」企画、お魚学習会にも参加。

この教室では、お魚について楽しく学び、実際に耳石を採取する実習も有る。

さらに、

耳石ハンターの先輩としてコレクションしている耳石や資料ノートの展示や初心者を指導したり、さらに先輩達から、技術や技法を学んだりすることもできる。そして何よりも、子供同士、親同士の情報交換ができる特典付きだ

ここまで来ると



調理もできるようになる。 ってか、したくなる！
(加熱すると、まるでエビ＝ベニテグリ＝深海魚をさばいているところ)

で、いつのまにか「耳石ハンター」になる

週末の早朝、親子で場外市場へ買い物に出かける。



魚屋さんに立ち寄る。(耳石ハンター応援店でさばき方を習う)
早朝の魚屋さんに集まる「耳石ハンターとサポーター」(親子)

仲間と情報交換 (ゆうと君6年生と、いくと君1年生)



ゆうと君の耳石コレクションの一部 随所に工夫が見える

早朝の場外市場で、まだ食べたことのない魚を探す。

見つけたら、購入。

食べる

耳石を採取する(工夫して資料ノート記載)

取れたらコレクションに加え、見つけられなくても、資料ノートには記録する

耳石を見れば、食べた魚が分かる

資料ノートを見れば、感想や挑戦記録が見える

美味しく食べて、楽しく集める「耳石ハンター」

いつでも、気軽に、道具が無くても始められる

ルールは簡単

※食べた魚から、自身で取り出す

魚屋さんで購入なら、産地、名前を忘れずに聞いておこう

釣った魚は毒の無いことを確認してから

※制限時間は「ご馳走さま」の後、30分だけ

親子一緒に楽しい時間が共有できて、家庭内で競争もできる

仲間で「見せっこ」すれば、さらに夢中になること間違い無し！

美味しくて、楽しい

耳石ハンター増殖中！